

キャリア支援通信

長良特別支援学校
キャリア支援部
令和2年12月24日

～架け橋～ 第4号小学部版

今年の金華祭で小学部は、児童一人一人が得意なことや楽しく取り組めること、日々の取組を生かした活動を各学級で撮影し、動画で発表しました。そして、11月17日に第1回「わくわくタイム」（小学部集会）をオンラインで行い、金華祭に向けて作成した各学級の動画を、全員で視聴しました。今回は小学部集会の様子と、2組5年生の児童生徒会活動の様子、訪問教育の活動の様子を紹介します。

11/17 第1回「わくわくタイム」（小学部集会）の様子

今年度は、コロナ禍で、例年のような小学部全員が集まって集会を行うことができません。そのため、オンラインで開催しました。

当日、小学部のみなさんは、時間になると各教室にあるテレビやタブレット端末の前に（ソーシャルディスタンスで）集合しました。初めに自己紹介（名前や好きなこと）をしてから、金華祭に向けて作成した各学級の動画を全員で視聴しました。画面に映る友達の姿をじっとかぶりつきで見たり、友達の演奏や演技にリズムをとったり笑顔になったり、それぞれの方法で楽しみました。最後の感想交流では、友達の発表を見て拍手を送ったり、「よかったよ。」「面白かったよ。」等の感想を伝えたりすることができました。司会を担当した2組の児童2人は、緊張しながらも、自分の役割をやり切ることができました。全員で集まることはできなくても、画面越しに顔をしっかりと見合いながら友達の存在を感じたり、コミュニケーションをとったりすることができました。

今後も感染予防対策を徹底しながら、小学部の児童同士がかかわり合える活動として「わくわくタイム」を計画していきます。



児童生徒会のお昼の放送（小学部5年2組2人）

今年は、小学部1組6年生1人と2組5年生2人が、児童生徒会に所属しています。児童生徒会活動の1つとして、お昼の放送があります。今年はコロナ禍のため、昨年度までのように先輩方に教えてもらいながら放送することができません。児童生徒会2年目の児童は、昨年度の経験を生かして、担当の教員と相談しながら放送内容やせりふを考え、放送のための準備にも取り組んでいます。また、今年1年目の児童も、回数を重ねながらミーティングで発言ができるようになってきました。2人とも新たな課題や目標にチャレンジして意欲的に活動しています。次の放送が楽しみです。



小学部 訪問教育 活動の様子を紹介します

訪問教育では、一人一人の状態や目標に応じた活動を、教員と一対一でじっくり取り組んでいます。

＜始めの会・終わりの会＞

グロッケンチャイムが鳴ったら、授業が始まります。始まりの歌をうたって、名前を呼びます。視線や表情、身体の動きや心拍数の変化等、それぞれの方法で返事ができます。季節の曲や天気調べなどの活動をする児童もいます。

繰り返しの活動を通して、授業の始まりや終わりを感じています。



＜身体を動かそう＞

体調良く過ごせるよう、教員と体操やふれあい遊びをしています。指の一本一本や腹、背中、脚にじっくり触れられることで、緊張をゆるめたり感覚を高めたりして活動に向かう準備をします。



＜先生と遊ぼう＞

一人一人の目標に応じて、お話遊びや楽器遊び、感触遊び等をしています。

『オーシャンドラム作り』では、ビーズを袋に入れて音を聞いたり手や足でつぶつぶの感触を感じたりしました。面白い感触に思わず笑顔となった児童もいました。思い思いに飾って素敵なオーシャンドラムが完成しました。金華祭では、ミッキーマウスマーチの曲に合わせて楽器を鳴らし、訪問のみんなでミッキーマウスマーチを演奏しました。

じっくり活動し、それぞれの方法で感じたことを表すことができる姿を目指しています。



＜オンライン授業＞

在宅や病棟と学校をオンラインでつないで、個別の授業をしたり学校の仲間と一緒に学習をしたり、部集会に参加したりしています。教員が提示する教材に興味をもち注目する姿や、仲間の声を聞いて心拍数が変化する様子もみられました。感染症が心配される中でも、継続して授業ができたり、仲間と時間や活動を共有したりすることができています。



キャリア通信第3・4号は各部版ですが、第4号は全校に配付します。学校の公式ホームページには過去の号もカラーで載せていますので、是非ご覧ください。